情報共有
（2枚）

非管理メモ

NISA班←プレス対応下.

東京電力株式会社
11/7 16°40' 広報班
取扱注意：公開不可

プラント状況（本店レク）議事メモ

暫定版

日時：平成23年11月7日（月）11:00～11:20
場所：東京電力本館3階大会議室
先方：記者約15名（カメラ3台）
当方：原子力・立地本部 [redacted]
原子力設備管理部 [redacted]
広報部 [redacted]

配布資料：
- 福島第一原子力発電所3号機使用済燃料プール循環冷却システム1次系ポンプ吸込圧力低下に伴うストレーナの洗浄について
- 滞留水分析結果シート
- 福島第一原子力発電所2号機使用済燃料プールにおける放射性物質除去装置の設置状況

[redacted]よりプラント状況、配付資料に関して説明。

質疑：

Q．3号機の使用済燃料プール循環冷却システムのストレーナについて詳細を教えていただきたい。

A．配管の途中に金網のようなものが設置されており、スキマサージタンクから一次系ポンプ側に水を吸い込む際に異物が流れ込まないようにするもの。今回、フィルタで目詰まりが起こり、ポンプの吸い込み圧力が低くなったため、逆向きに水を流し、金網についている異物を押し流す計画である。

Q．今回3号機で目詰まりを起こしたが、3号機特有の理由はあるのか。

A．詳細については調査中である。

Q．福島第一原子力発電所の他号機についてはストレーナの目詰まりは確認されていないのか。

A．その通り。不具合についてはポンプの吸込み圧力で監視しており、スキマサージタンクに水があったとしても、目詰まりを起こしていると吸込み圧力が低下してしまうもの。

Q．現在設置工事中の中低レベル用処理水受タンクについて、年内には毎月2万トン分ずつ設置するという事だが、来年以降はどのような計画になっているのか。

A．今のペースで年内に約10万トン分のタンクの設置する予定。来年以降の設置については未定だが、増やす可能性はある。

Q．現在の状況としては、12月までに設置するタンクの容量で問題無いのか。

A．当分O.P.3,000でコントロールする限りは問題無いと考えている。

2011年11月 7日 16時51分　東京電力(株)原子力立地本部　No. 0386　P. 1

Q．福島第二原子力発電所４号機の主タービン点検の目的を教えていただきたい。
A．福島第二原子力発電所は発災時には全号機が稼働しており、地震による設備への影響の確認をするため、今回４号機の主タービンについて内部点検を実施する事とした。新潟県中越沖地震の際にも柏崎刈羽原子力発電所４・７号機のタービンのシュラウドにこすれが生じており、今回の地震の際にも主タービンの車軸は回転していたため、内部をよく点検したいと思っている。

Q．福島第二原子力発電所の再開を視野に入れているという事か。
A．あくまで地震による設備への影響についての点検をするためのもの。点検には時間がかかるため、計画的に行いたいと思っている。今まで原子炉を中心に点検してきたが、タービンについても被害状況を把握する必要があると考えている。

以　上